

江戸時代（近世後期）	()組	氏
	()番	名

一郎さんの学級では、「近世後期」の学習の振り返りとして、「江戸幕府の改革」「身分制度」「キリスト教の禁止」「鎖国政策」のキーワードの中から二つ選び、各自で整理することにしました。カードA～Cは、保志さんが作成したものである。後の各問いに答えなさい。

A 武士は、幕府を支えていたので、^{みょうじ}名字・^{たいとう}帯刀などいくつかの^{とっけん}特権があったが、大名を統制する^{ぶけしよほつと}武家諸法度を守らなければならなかった。

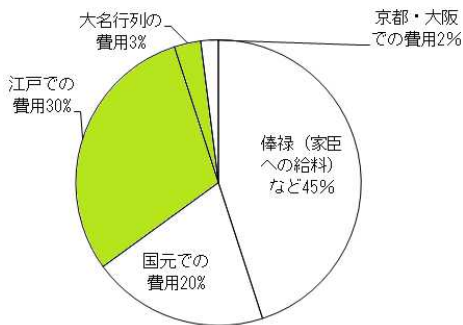
(1) カードAの波線部については、将軍の代がわりごとに出され、一郎さんは、第3代将軍徳川家光が制度として定めた「参勤交代」について資料1～3を作成した。

【資料1 主な藩の大名行列にかかったおおよその日数・経費等】

藩	石高	道程	日数	経費
前田家（加賀藩）	103万石	119里（480km）	13日	5,333両
池田家（鳥取藩）	33万石	180里（720km）	22日	5,500両
伊達家（宇和島藩）	10万石	255里（1,020km）	30日	986両
島津家（薩摩藩）	77万石	440里（1,700km）	40～60日	17,000両

（「ウィキペディア」フリー百科事典から作成）

【資料2 財政（年間支出）にしめる参勤交代の費用の例（松江藩）】



（小学館「江戸時代館」から作成）

【資料3 参勤交代における幕府の規定の人数と実際の人数の例】

	規定の人数	実際の人数
飢肥藩	150人	300人～400人
加賀藩	450人	2,000人～4,000人

（「参勤交代道中記」などをもとに作成）

資料3から、各藩は幕府の規定以上の人数で参勤交代を行ったことがわかります。

① 資料1、2から、参勤交代が大名にどのような影響を与えたか答えなさい。

大名は1年おきに領地と江戸を往復することになり、その費用や江戸での生活のため多くの出費を強いられた。

② 資料3から、一郎さんは、なぜ、規定と違う人数で大名行列を行ったのか、次のような仮説を考えました。（ ）に当てはまる文を答えなさい。

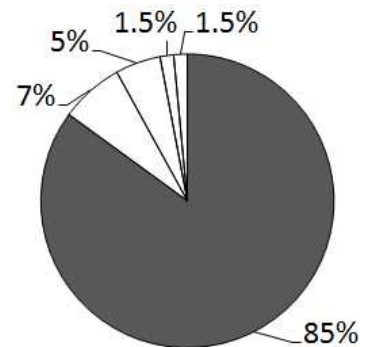
（ 自らの体面を守り、幕府への忠誠心や藩の権勢 ）

を示す絶好の機会であったから。

**B 「百姓と胡麻の油はしぼればしぼるほどとれる」と言われ、百姓には、
①百姓の生活心得による統制や②五人組の制度が負わされた。**

- (2) 右のグラフは、江戸時代の身分別の人口の割合を作成したものである。百姓身分の部分^を黒鉛筆で塗りなさい。
 (3) 次の資料3は、カードBの波線部①について、その一部を示したものである。()に当てはまる穀物名を に書きなさい。

【身分別の人口の割合】



資料3 百姓の生活心得 (部分)

- 朝は早く起きて草をかり、昼は田畑^{ぼん なわ}を耕作し、晩には縄をない、俵を編み、それぞれの仕事に気をぬくことなくはげむこと。
- 酒や茶を買って飲まないようにせよ。
- 百姓は雑穀^{ひゃくしょう ざっこく}を食べ、()を多く食いつぶさぬようにせよ。

- (4) カードBの資料3と五人組の制度の内容から、幕府の目的を考えてみましょう。

「確実」という語句を用

百姓にぜいたくをさせないようにして効率よく農業に精を出させ、連帯責任により年貢の取立てが確実にできるようにするため。

C 幕府は、様々な財政・制度改革を幾度にもわたって行いながら、ききんなどを乗り越え、立て直しを図ってきた。

- (5) カードCの波線部①の表を、次の表に整理しました。改革の共通点と、共通する内容があります。どの改革を、次の表に整理しました。改革の共通点と、共通する内容があります。どの改革を、次の表に整理しました。改革の共通点と、共通する内容があります。

	享保の改革	寛政の改革	天保改革
他の改革と共通の取組	・質素、倹約を命じた。	・質素、倹約を命じた。 ・旗本や御家人の借金を帳消しにした。	・質素、倹約を命じた。 ・旗本や御家人の借金を帳消しにした。
独自の取組	・公事方御定書を定め、目安箱を設置した。 ・参勤交代での江戸滞在期間を半減し、大名から納めさせる米の量を増やした。	・朱子学以外の学問を教えることを禁じた。 ・凶作やききんに備えるため、各地に倉を設けて米をたくわえさせた。	・株仲間に解散を命じた。 ・江戸などに出かせぎに出ていた農民を自分の農村に帰らせた。

江戸幕府の財政の根本である米の収入を増やして財政を立て直せるような農民や農村への対策